

方言談話中に登場するGさんは、右の写真の大杉ミュージカルシアターのガート(Gart)さんです。



みまっし、きくまっし 小松の方言

連載 218

加藤和夫 ●金沢大学人間社会学域教授・日本語学

方言談話資料に見る 小松方言の特徴 その2

大杉町(下大杉町)・大杉中町方言の 自然談話②

前回に続けて、1996年10月2日に大杉町生活改善センターで収録した4名の話者(A大正6年生まれ・男、B大正4年生まれ・男、C大正4年生まれ・男、D大正11年生まれ・女)による自然談話を紹介し、特徴的な方言(傍線部)について簡単に解説します。

文字化にあたっては、無意味な挿入句等は省略しつつ、表音的片仮名表記(文節分かち書き)で示し、適宜()内に共通語訳を付しました。なお、談話中に登場する個人名はイニシャルで略記しました。

A コクサイテキナ(国際的な) コトモ ハナン シェンナンシネー(しなくてははいけないしねえ)

あんしん相談センター ☎24・8071
消費者ホットライン ☎188

問い合わせ

賢い消費者になろう

消費せいかつ

VOL. 83

複合サービス会員契約の二次被害にご注意!

5月は消費者月間です 「みんなの強みを活かせる安全・安心な社会に一億総活躍～」



松太くん 第1回 絵:たくろー

※小松市立高校
芸術コース美術専攻

事例 過去に契約した会員制クラブの会費が未納という通知が届いた。既に退会したはずだが支払う必要はあるのか。

トラブル回避のポイント

- ◆旅行・飲食・映画など、複数の特典を格安で受けられるサービス会員の入会経験者に「会費が未納だ」「退会手続きが済んでいない」と支払い済みの会費を請求する二次被害の手口です。
- ◆10年以上前に退会した契約者に対して、請求している事例もあります。
- ◆身に覚えのない請求があった場合、すぐには請求に応じず、あんしん相談センターに相談しましょう。

チイキテキナ(地域的な) コトモ ハナン シェンナンシネー。ココニ オイデルヨナ(いらつしやるような) ホラ アノ ガイジンサン。アラ Rサンチュートン Gサンチュートンネ。アンタト オンナシヤ Gサンテユノアンネーアワズノ(粟津の) ホーノ タンダイノ エーゴノ シェンシエー。アノ Rサンテユノアドッカ アタカノ(安宅の) ホーノ コーパノアメリカトノ ツーヤクオ シテオイデルミタイデネ ヨル イッテ モー ムコア コツチャ ヨルデモ ヒルヤサケネ(昼だからね)ソニー シゴト シテオイデルンテ。ガイジンサン シンシエツナケー(親切だからね) テー アゲテンネー ワタシラ サンキューシカ オボエトランサカイ ソレヨリ ユエンケドネー。

【解説】※前回取り上げた談話中の方言を含む
・トシヨリヤサカイ、トイモンジャサカイ、ユーサケナ…サカイ、サケは共通語の「〜から」にあたる理由・原因の接続助詞です。関西地方で生まれた「サカイが北陸地方に伝わり、後に「サケ」の形も生まれました。シンシエツナケーの「ケ」は「サケ」の「サ」がさらに脱落した形です。

・イワンナント、シェンナンシ…ンナンは動詞の未然形に接続して「〜なければならぬ」の意味を表します。

・オイデル、シテオイデル…オイデルは北陸の方言で動詞「行く、来る、いる」の尊敬表現として使われます。補助動詞「〜ていく、〜てくる、〜ていく」の尊敬表現としての「〜テオイデル」も使われます。

ロシア・アンガルスク市 青少年訪問団 参加者募集

問い合わせ 国際都市推進課 ☎24・8039



アンガルスク市について

アンガルスク市はロシアのシベリア南東部に位置し、人口約23万人。世界一の透明度と深さを誇り、世界遺産に認定されているバイカル湖近くの都市です。

小松市の友好交流都市、ロシア・アンガルスク市へ青少年訪問団を派遣します。訪問団の一員となって、国際理解を深めてみませんか。

派遣時期 平成28年8月上旬 1週間程度

派遣先 ロシア イルクーツク州 アンガルスク市

応募資格 次の①～⑤を全て満たす人

- ①市内在住の中学生～高校生 ②積極性及び協調性に富み、規律ある行動及び団体生活のできる人 ③異文化理解・国際交流に興味があり、日本語及びコミュニケーション能力が十分な人 ④事業の趣旨・目的を理解し、指定する研修に出席できる人 ⑤派遣時にビザ取得可能な人

募集人数 8人

参加経費 15万円(パスポート取得経費などを除く)

応募方法 5月16日(月)までに応募書類(参加申込書、参加承認書、作文)を国際都市推進課に提出。詳しくは市ホームページをご覧ください。※応募書類は市ホームページからダウンロードできます。



歴史の舞台裏

連載 211

曳山の舞台裏 五人衆の底力

5月といえばお旅まつり。今年は曳山二五〇年本祭が催され、このコーナーでも舞台裏にふさわしく曳山を陰で支える五人衆を紹介しましょう。

「五人衆をやって一人前」と言われるほど、町ではこの役目を受け、全うすることは、以前紹介した向本折町の初老祝いと同様、五人衆もまた人生の重要なターニングポイントと言えます。

五人衆は、4年前の曳山当番年に、上演の頭となつて仕切った若連中の年長者数人が担います。要である曳山運営を掌り、準備金の積み立て、企業や商店からの協賛金の収集に、4年間奔走します。また「町の人」として認められ、信頼を得ることも五人衆の大切な役目として、各町内の行事に参加したり、多方面に顔出ししたりします。さらにマンパワーの確保は絶対です。曳山上演の全てを把握し、曳山移動から上演補助までの一切を仕切る若連中の存在は不可欠であり、その人数の確保には相当な力を注ぎます。二十歳前後から三十歳半ばの若者は次期五人衆の卵だからです。



▲五人衆勢揃い

しかし、最近では五人衆の運営も県外就職、自営業の減少、郊外への転居などでままならず、町内会が運営母体になることも増えてきました。伝統を受け継ぐ心、何としても灯し続けたいですね。

図書館市史編集担当
☎24・5315